

きずな
第87号

平成24年11月15日

みよし 議会だより

発行／みよし市議会
編集／議会広報特別委員会

〒470-0295
愛知県みよし市三好町小坂 50
TEL (0561) 32-2111 (代)
FAX (0561) 34-4549

目次

23年度決算報告	2P～5P
24年9月議会報告	6P～7P
常任委員会報告Q&A	8P～10P
12名が市政を問う(9月議会一般質問)	11P～16P
行政調査報告	17P～19P
議会改革掲示板	19P
コミュニティ防災訓練	20P

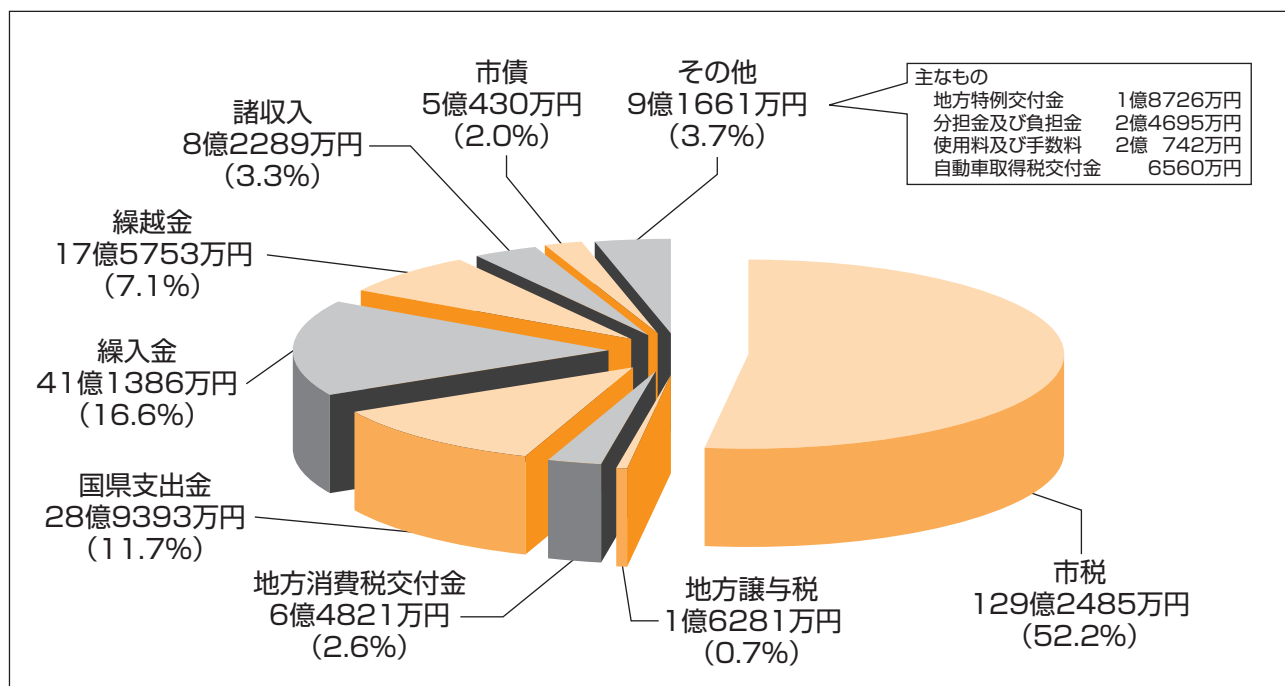


みよし市議会ホームページアドレス <http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp/>
(市ホームページから市議会の欄をクリックしてください。)

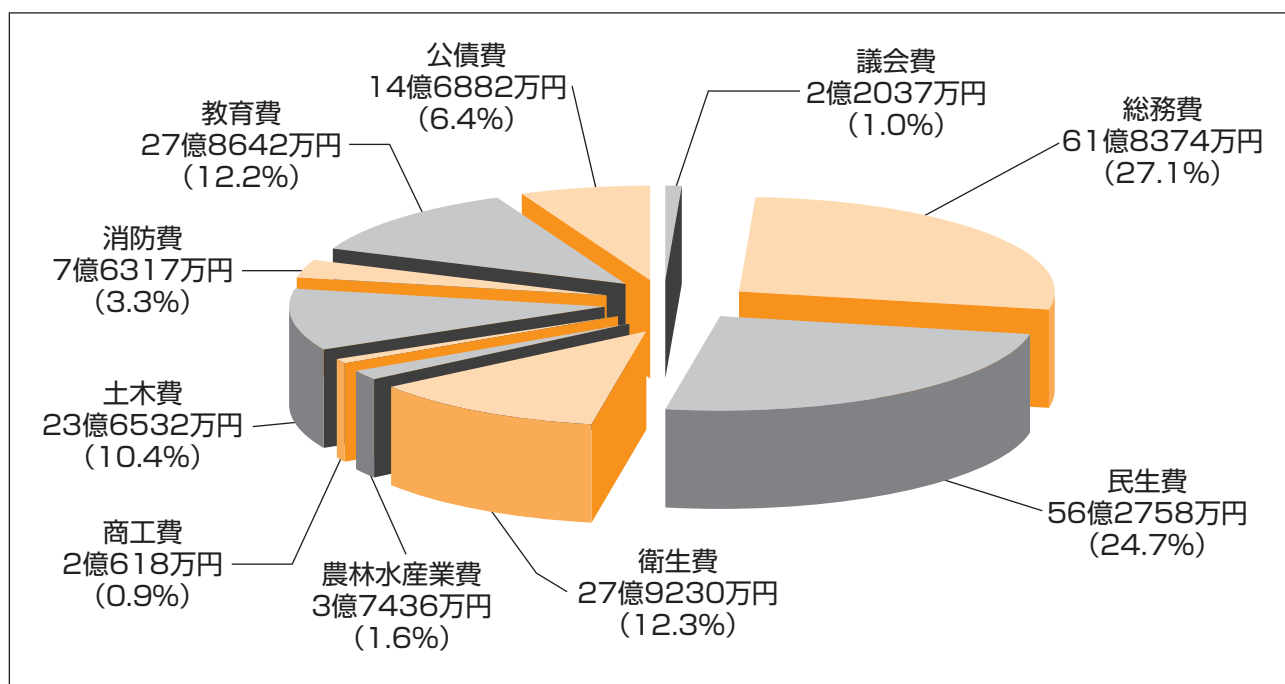
■ 三好文化幼稚園運動会

23年度決算 市税129億2485万円

一般会計歳入247億4503万円 (千円以下切捨て)

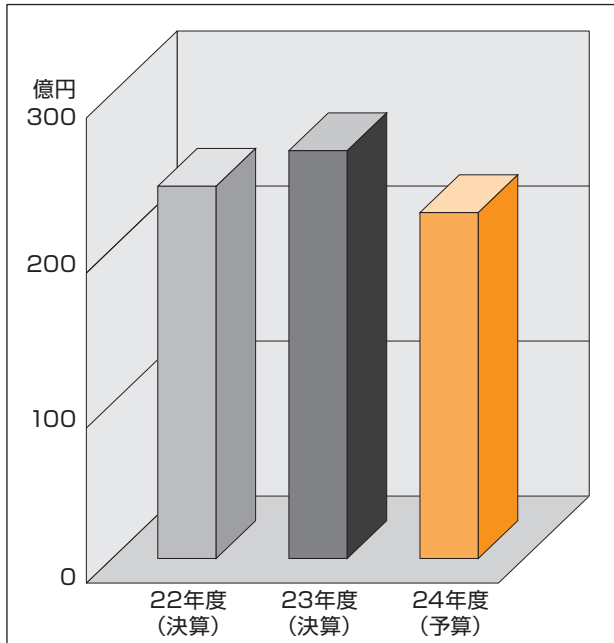


一般会計歳出227億9257万円 (千円以下切捨て)

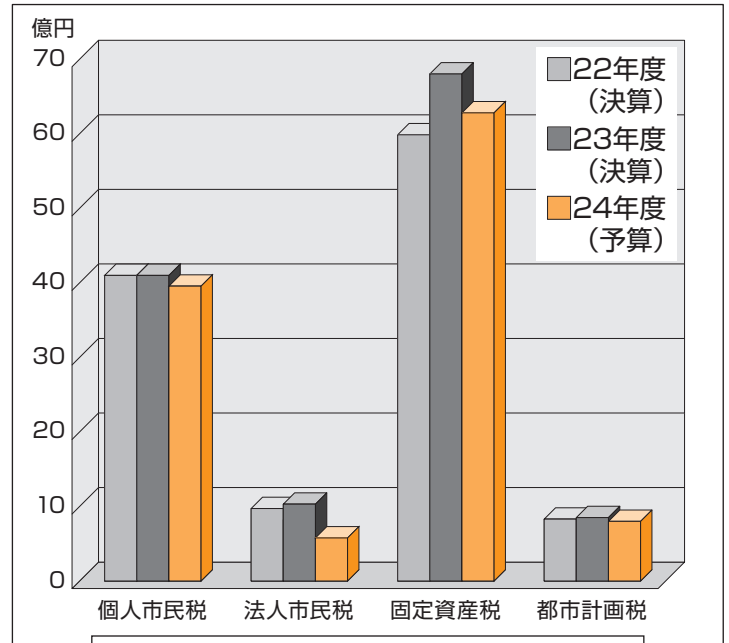


決算状況の推移

歳入の推移

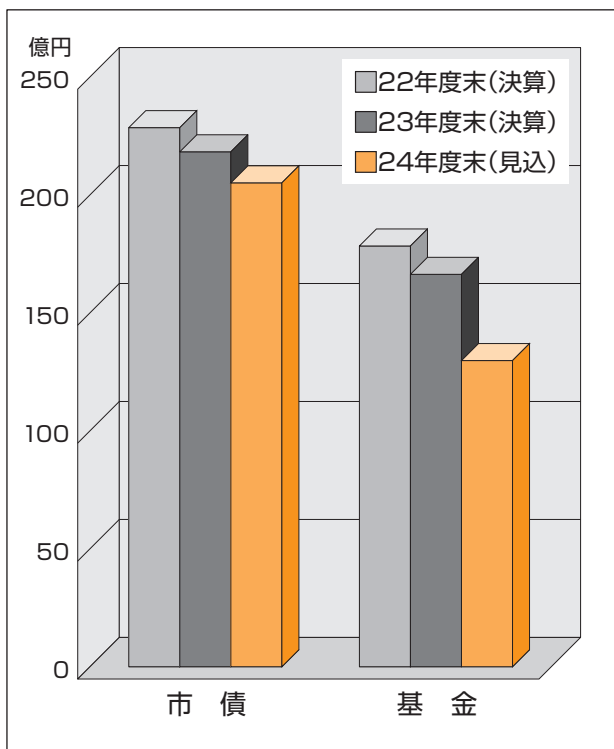


市税の状況



※平成23年度固定資産税の増は、大規模償却資産の県課税がなくなったため。

市債・基金の状況



主な基金残高

主 な 基 金	23年度末現在高
財政調整基金	39億9915万円
公共施設維持管理基金	13億5843万円
複合施設建設基金	17億2385万円
土地開発基金	5億1878万円
小、中学校建設基金	8億8461万円
下水道施設整備基金	5億2431万円
環境基金	6億7594万円
公園緑地保全基金	1億5027万円

査報告

主要施策に 主な事業



●市役所新庁舎

庁舎新築事業

平成 24 年 5 月 7 日開庁 23 年度分施工監理・新築
工事費 12 億 7451 万円。庁舎地下に免震装置を設置。
今後みよし市の防災拠点となる。



●三好中学校プール

三好中学校大規模改修第 4 期工事

23 年度はプール改修と普通教室の転用工事等を実施、
23 年度 8778 万円。24 年度は駐車場と校内の外溝
工事を予定。



●不燃物埋立処分場

不燃物埋立処分場適正化事業

福谷町内の本市の不燃物埋立処分場において埋立廃
棄物を掘り起し、土砂及び廃棄物の分離・選別を 24
年度まで実施。23 年度 5836 万円



●さんさんバス新規車両

さんさんバス新規車両 2 台購入

さんさんバスの路線再編に合わせ、新規バス車両 2
台購入、6 台体制で運行。新規に根浦地区、豊田厚生
病院に乗り入れ。年間 1 億 62 万円



●城山保育園

城山保育園耐震補強整備工事

福谷町内の城山保育園の園舎の耐震補強工事を実
施。機械・電気工事も合わせて改修し、保育環境が向上。
他の保育園整備費を合わせて 8011 万円。

決算審

23年度主 に基づく主



●安心ステーション

深夜防犯パトロールの実施

県の緊急雇用創出事業の補助を受け、安心ステーションを拠点として夜10時から翌朝4時まで青パトによる市内全域を巡回パトロール。



○さくらの丘

障がい者施設整備事業

知的障がい者の社会的自立を図るため、(仮)第2しおみの丘の整備に対して23年度は1350万8千円、24年度に2475万8千円を補助。24年9月1日にさくらの丘として開所。



●県営畑地帯総合土地改良事業

県営畑地帯総合土地改良事業の推進

三好下区における樹園地の整備に合わせ、畑総地内の三好大慈山線等の道路改良工事、柿、梨、ぶどうのブランド化に対する補助を実施。

一般会計・特別会計等の決算状況

(千円以下切捨て)

会 計 名		歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計		247億4503万円	227億9257万円	19億5245万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	45億6548万円	43億3090万円	2億3458万円
	下 水 道 事 業	12億6074万円	11億7740万円	8333万円
	農業集落排水事業	2億5923万円	2億4141万円	1782万円
	介 護 保 険	15億7797万円	15億5782万円	2014万円
	やすらぎ霊園	4217万円	3774万円	442万円
	後期高齢者医療	3億1917万円	3億1359万円	558万円
病院事 業会計	収益的収支	26億7833万円	27億9983万円	△1億2150万円
	資本的収支	1億5571万円	2億6532万円	△1億0961万円

平成24年第3回定例会(9月議会)報告

9月議会は9月7日(金)～26日(水)の20日間の会期で開催。条例の制定・一部改正、24年度一般会計・特別会計補正予算など10議案の他、同意1件、23年度決算認定8件、諮問2件、報告2件が審議されました。主なものについてお知らせします。

条例の制定

○暴力団排除条例

●みよし市から暴力団を排除し、市民生活の安全確保と地域経済の健全な発展を目指すもの。
愛知県及び県内市町村でも同様の条例制定が進んでいる。なお、現在市内に暴力団事務所はなく、市役所に対する不当な圧力も起きていない。

○商工業活性化基金の設置に関する条例

条例の一部改正

○防災会議条例及び災害対策条例の一部改正

●災害対策基本法の一部改正に伴い、地域防災

●市が保有する三好商業振興株式会社の株式の半分を同社に売渡し、6000万円が市に入るようになった。この財源を利用し、市内商工業者を支援する基金を設置することになったもので、現在、販路拡大や人材育成、商工業者連携、特産品開発等が案として出ている。

一般会計補正予算

○補正額は16億619

6万円

歳入歳出の主なものは次のとおり

歳入

●23年度繰越金

14億3173万円

●三好商業振興株式会社の株式売却収入
6000万円

●環境基金繰入金
4000万円

●一般寄付金(三好丘あおば区)
5000万円

●県補助金

河川改修事業(茶屋川)

2400万円

公園整備事業(根浦4号公園)

570万円

街路整備事業(市道蜂ヶ池線)

450万円

●配当金

株式会社コミュニティ
ネットワークセンター
702万円

新商業都市株式会社
119万円

●土木費雑入

2678万円

歳出

●議会に関するアンケート調査
74万円

(20才以上2000人を対象に実施)

●庁舎維持管理事業

1億3483万円

(3月補正予算で購入が決まったカリヨンハウスの改修工事費1億2500万円等。今回はメグリA1階にあるサンネットを、カリヨンハウスの2階に移すための工事費。

面積は約3倍になる。)

●財政調整基金積立
10億3000万円

(23年度繰越金の基金積立。法令上、前年度繰越金の半分以上を財政調整基金に積立ることが義務付けられている。)

●高齢者生きがいセンター(太陽の家)用地取得
6256万円

(6月補正で不動産鑑定済。面積1896㎡)



◎太陽の家



●低公害車普及促進事業

2000万円

(当初予算で150台分を計上したが、1週間で枠が埋まったため、250台分を新たに追加。)

●住宅用太陽光発電システム設置事業

2000万円

(当初予算で150件分を計上したが、8月で予算を消化。100件分を新たに追加。)

●予防接種事業

4345万円

(小児まひ(ポリオ)予防のため、これまで乳児に生ワクチンを投与してきたが、副反応のおそれが一部あるため、国が生ワクチンから不活性化ワクチンの接種に切り替えた。接種費用は全額市が負担している。)



●道路修繕事業

市道八和田西山線舗装補修
2000万円

(トヨタ明知工場の間の道路、640m。)

市道三好池線側溝整備

1120万円

(陸上競技場横から三好池駐車場に上がる市道の側溝150m。)

●道路改良工事

市道三好明知下線

2500万円

(三好下の畑総地内の道路130m。)

市道落合宮前線

2605万円

(用地取得418㎡。全額県費負担。)

●都市計画道路蜂ヶ池線整備事業

1300万円

●茶屋川改修工事

7300万円

(県費補助2400万円を



◎市道三好池線

受け、護岸30m、橋梁1カ所、樋管2カ所の工事。)



◎準用河川茶屋川

●根浦4号公園整備工事

1976万円

(三好根浦土地区画整理事業地内の公園整備。高木29本、中木7本等を植栽し、園路広場1200㎡等を整備。)



◎根浦4号公園用地

字の区域の設定

○国道153号線に沿って宅地造成事業が進む打越町諸輪坂地区の住居表示を、「南台」に変更する。地区には187戸の住宅が立つ予定。



◎南台

同意

○現教育長の廣瀬正巳氏の任期満了に伴い、小野田賢治を教育委員に選任した。

諮問

○人権擁護委員小野田頼之氏の任期満了に伴い竹下敬子氏の推薦と近藤照美氏の再任に賛成した。

報告

○地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、平成23年度の一般会計、特別会計、企業会計の健全化判断比率、資金不足比率が審査され、いずれも問題なしとの報告があった。

常任委員会報告Q&A

各委員会の付託案件の
主な審査内容をお知らせ
します。

総務協働委員会

暴力団排除条例の制定

Q 第4条の暴力追放運動推進団体とは具体的にどのような団体か。

A 愛知県の場合は公益財団法人暴力追放愛知県民会議を始め、地域住民や職域による暴力団排除活動を行う団体を指します。豊田みよし地区では豊田警察署にある防犯協会などが該当します。

Q 条例は10月1日施行予定とあるが、どのような告知方法を考えているか。

A 広報とホームページを用いて周知します。規制対象が暴力団のため、

できるだけ早い施行を考
えています。

防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正

Q 防災会議の一番の役割は何か。

A 平時において、防災に対する市の姿勢や体制を、防災計画を通して議論・検討することです。

Q 女性の視点も重要と思うが、市の考え方は。

A 今後検討します。

24年度一般会計補正予算

Q 歳入にある配当金の計算方法はどのようなか。

A 株式会社コミュニティネットワークセンターについては、703万800円の配当金がありました。内訳は普通株

42万1200株（1株当たり9円の配当）とひまわりの種類株1200株（同2700円の配当）の持株によるものです。

株式会社「新商業都市」については1200株保有し、1株当たり1000円の配当のため120万円の配当金がありました。

Q 三好丘および行政区から市に5000万円の一般寄付金があるが、三好ヶ丘第三土地区画整理組合から同行政区に6000万円が既に支払われているのか。

A 組合と行政区のやり取りは聞いていませんが、5000万円が5月25日に市に入金されており、既に支払われたと思います。

Q カリヨンハウスの改修工事費の内容の説明を。

A 新庁舎の躯体工事費を除く工事費と、三好丘交流センターの改修工事費（5000㎡で

7800万円）を参考に
して、平米当たりの工事
単価を16万円と見込みま
した。この単価と改修部
分の面積648㎡を乗じ
た額に、エレベータ設置
費を加えた額が今回の工
事費となります。



◎カリヨンハウス利活用検討委員会

24年度国民健康保険特別会計補正予算

Q 退職被保険者等高額療養費支給事業費1961万円余が計上されているが、特別な要因があるのか。

A 24年度当初予算は23年の10月に積算し、その段階では22年度当初予算相当額を計上しました。今年に入り、5月の診療で500万円を超し、今後も毎月300万円程度必要と見込んだためです。要因は心臓疾患や脳手術が増え、1件当たり80万円を超える患者が増えたためです。

Q 国保税の資産割を無くす考えはあるか。

A 国保運営協議会で協議・検討していますが、将来的には資産割を廃止したいと考えています。

字区域の設定

Q 今回字の区域を設定する南台は、行政区は打越、小学校区は天王小、中学校は南中と聞くが、周辺の打越町諸輪坂にも住宅がある。これらの所は、どの行政区と学校区になるのか。

A 15軒ほど家がありませんが、この区域も行政区は打越、小学校は天王小、中学校は南中です。

23年度一般会計決算認定

Q 市税の収納状況と滞納状況はどのようなか。

A 市税全体の収納率は、現年課税分が99・27%で対前年度比0・12%の増、滞納繰越分は22・59%で6・05%増となっており、合計の収納率は96・50%で0・46%の増です。

23年度国民健康保険特別
会計決算認定

Q 国保税の収入未済額が4億4064万円余あるが、滞納件数と未納者の状況及び収納対策はどのようなか。

A 未納者の件数は1668世帯です。解雇や自己都合によらない退職等で所得が減り、それに伴い未納者が増えています。生活状況や財産等の審査を行い、財産がありながら国保税を納付しない人に対しては、差押え等の滞納処分を行います。また、財産がなく納付できないことが明らかになれば、法律に基づき滞納処分の執行停止を行います。

文教厚生委員会

24年度一般会計補正予算

Q 障がい者自立支援事業の中で、今回は障がい者虐待防止体制を整備するということか。

A 本市では、児童や高齢者の虐待については既に予防や防止対策を行っており、今回は「(仮称)みよし市障がい者虐待防止連携協議会」を設置するものです。

Q 生ポリオワクチンと不活化ワクチンの違いは。

A 生ポリオワクチンは経口摂取で口から飲んで腸管内で増殖させて免疫を獲得させ、不活化ワクチンは皮下接種により体内で免疫を作ります。

23年度一般会計決算認定

Q 地域支え合い事業の徘徊高齢者搜索模擬訓練

の内容は。

A 地域の方に徘徊高齢者への接し方や声かけの訓練をして頂き、認知症への理解を深めて頂きます。

Q 子ども会の補助金の使い方が変わり児童数の多いところでは使用が難しくなった。見直す必要があるのではないか。

A 今年から補助金事業の見直しを行いました。地域、団体の皆様の質問や意見を頂き、一年間実施した上で検討します。



◎地域支え合い事業（認知症講座）

Q 学校図書館開放事業で黒笹小学校を選定した理由と利用実績を。

A 黒笹小学校には防炎シャッターがあり、他施設への出入りを遮断ができるためです。利用実績は10カ月間で大人92名、小人198名の合計290名で、1カ月当たり30名程度の利用となります。

Q サンアートの指定管理委託における、維持管理と事業内容について。

A 年度契約により年間の契約金額が決まっております。市としては経費の平準化が図られています。また、指定管理者は電気事業者を変更し光熱費削減を図ったり、自主文化事業の開催により利用者が増加しています。

Q マラソン駅伝大会の参加料はいくらか。以前の質問にあった小中学生の参加料の考慮についてはどうか。

A 参加料は中学生以下は500円、一般のシヨギングの部は500円引き下げ1000円、マラソンの部は500円増とし2000円、駅伝の部も500円増で1万2000円です。中学生以下は据え置きとしました。

23年度介護保険特別会計
決算認定

Q みよしの今後の介護保険料について。

A 介護保険は3年に1回見直しを行っており、現在は24年度、26年度の第5期です。第6期の事業計画においては基金を取り崩して値上げを抑制する必要があります。

Q 商工業の活性化を考えると、産業課で行うよりも全市的な取り組みが必要ではないか。

A 基金の原資となっている三好商業振興株式会社への出資は、地元商工業者を支援する目的で当時株式を取得したものです。今回、基金を設置して、地元商工業者を中心として商工業の活性の機会を与えることができればと考えています。

Q 市の所有する2400株のうち、1200株を売却し6000万円を商工業の活性化のための基金とすることだが、今後積み増しする予定はあるか。

A 積み増しについては、現時点では考えていません。



◎みよし商工会

24年度一般会計補正予算

Q 民間木造住宅耐震改修費補助事業は、平成21年～24年度までに何件補助しているか。

A 21年度8件、22年度10件、23年度16件でした。当初予定の10件に達したため、3件の追加を補正するものです。

23年度一般会計決算認定

Q 不法投棄防止パトロールの内容、時間や人数は。

A 業者に委託して行っています。2名体制で年間2000日、1日4時間程度で市内全域を、コースを変えながら実施しています。

Q 悪臭の調査については、市内5地点で行って

いるが結果はどうか。

A 苦情のあった場所や悪臭施設として登録している事業所の内、了解が得られたところで実施しました。いずれも基準値以下でした。

Q どこも基準値以下だということだが計測以降も苦情が出ている地点もあると思う。今後の改善方法は。

A 継続的に苦情を頂く所もありますので、環境課と所管課と一緒に継続して改善策を考えていきます。

Q 現在適正化工事が行われている不燃物埋立処分場は、今後どのように運用するのか。

A 適正化工事が完了する来年度からは、コンクリートがらの受付を再開したいと考えています。

Q グリーン・クリンふじの丘に、ブロック、レンガを搬入しているのは、23年度、24年度に不

燃物埋立処分場が使えないからか。

A 不燃物埋立処分場が使えない間はブロック、レンガも搬入していますが、基本的には埋め立てする不燃物を搬入しています。

Q 道路台帳修正事業の委託で国の緊急雇用創出事業補助金が使われているが、台帳整備に集中的に使うようにという決まりがあるか。

A 新規事業であることが条件になります。台帳事業等は、一般財源で行うことが難しかったので補助率100%の今回の事業を活用して行うことにしました。

Q 準用河川茶屋川改修工事は24年で完了か。

A 19年度から3年間で用地買収をし、22年度から工事を行っています。

県からの補助金を確保して事業を実施しており、最終的に何年と決まってい

ません。また、10年以上継続する予定です。

23年度下水道事業特別会計決算

Q 現在の下水道普及率は。

A 公共下水道事業76.3%、農業集落排水事業17.7%、コミュニティプラント整備事業2.8%、市全体で96.8%です。

一般質問 ○ 市政を問う ○

第3回定例会（9月議会）に12名の議員が、市政に対する一般質問を行いました。

塚本 克彦（新世紀の会）

平成23年度決算

問 平成23年度財政運営の総括は。

答 歳入総額は327億6983万2千円、歳出は304億5147万7千円。市税では固定資産税の大規模償却資産税が県課税から市課税になったことにより7億951万4千円の増額となりました。歳出では庁舎新築、分庁舎購入、各種ワクチンの公費負担により増額となり、形式収支では23億1835万5千円となりました。

財政力指数は単年度で1・12と低下し、経常収支比率は87・2ポイントと改善しました。今後市財政は歳入の大幅増は見込めないため、コスト意識の徹底を図り、簡素

で効率的な財政運営に努めます。

行政評価と事務事業評価

問 行政評価の体系と事務事業評価委員会とは。

答 本市の行政評価は全ての事務事業を対象にした事務事業評価と施策評価を一体的に実施。評価の仕組みは行政評価実施要綱に基づき、1次から3次までの内部評価と有識者による外部評価を行っています。22年度の562事務事業の内、58事務事業が23年度当初予算編成において評価に基づき減額となりました。行政評価委員会の評価により見直した事業は24年度では商工団体振興補助事業、友好都市中学生派遣事業、給食賄材料購入委託事業などで、行政評

価の内容はホームページへの掲載とともに、今年度から広報みよしでもお知らせします。

区分 年度	財政力指数		経常収支比率 (%)	公債費比率 (%)
	単年度	3ヵ月平均		
23年度	1.12	1.32	87.2	5.6
22年度	1.13	1.64	97.4	6.8
21年度	1.71	1.92	99.7	6.3
20年度	2.08	1.94	69.6	5.1

◎財政構造

高木 和彦（みよし未来の会）

新庁舎の安全対応

問 新庁舎内には、見えない多くの危険と市民（利用者）から見た利便性が悪い箇所もあると思う。安全性・利便性の向上を進めるには、多くの目で確認し、対応策を打っていくことが必要と考える。庁舎の安全性・利便性など市民の意見・要望の集約と対応は。

答 5月7日から11日までの5日間実施した新庁舎見学会に、616名来庁され、24件の意見・要望が寄せられました。その内、安全性・利便性に関するものは11件でした。階段での両サイドへの手すりの設置等8件はすでに対応済みで、残り3件については課ごとの色分け表示などで、急を要しないことから、今後の

課題とします。

問 6月に実施された新庁舎での避難訓練後の課題・問題点と対応は。

答 垂直降下式避難救助袋を降下した際、バルコニーの外側に救助袋が出てしまいました。建物に付帯品を10月中に取り付け改良します。

子育て支援

問 放課後児童クラブの事業内容は。

答 通常は放課後から午後6時まで、長期学校休校日と行事等の代休日及び祝日は、午前9時から午後6時まで行っています。なお、祝日は中部小と北部小の2クラブで午前8時から早朝利用も行っています。

問 フルタイムで働く方には、平日同様午後6時までの延長保育が必要で

あると考えるが。

答 現在、天王保育園の1園で午前8時から午後5時まで実施しており、午前7時30分から午後6時までの時間拡大は現在考えていません。

その他の主な質問 ・商工会の活性化策



◎新庁舎避難訓練

伊 東 修 子（公明党）

黒笹小学校の渡り廊 下耐震補強

問 平成20年に黒笹小学校の渡り廊下のサッシが落下した。今の状況は。

答 サッシの上部にはずれ止め金具を設置し、全てのサッシの上部にレールガイドを設置したので落下の危険はありません。

問 耐震補強のためにも渡り廊下に柱を入れ、補強する考えは。

答 建築基準に基づく建築で耐震性は確保されています。補強工事を行う考えはありません。

いじめ対策

問 いじめはどの学校にも、どの学級にもおこり得るものだと認識しなければならぬが、市が行ったアンケート調査の結果は。

は、児童相談センター、保健所、警察署等外部機関とも連携します。

その他の主な質問 ・認定子ども園

水 谷 邦 恵（清風クラブ）

カリヨンハウスの活用

問 24年3月議会の補正予算で購入したカリヨンハウスの活用で、三好丘市民の最大の関心事であるサンネット移設についての設問が6行政区が実施したアンケートに無いのはなぜか。

答 カリヨンハウス活用検討委員会に決定事項であると説明したためと思われま。

問 アンケートの記述欄に、「現状のままだがよい」「現在買い物と同時に利用できる事に利点がある、不便になることを前提とした整備は行うべきでない」「十分な駐車場が無ければ全く意味が無い」「駐車場の整備をどうするか説明して欲しい」等々の意見がある。市民にどのように対処するのか。

答 検討委員会に全ての結果を提供しており、それを踏まえて検討して頂いています。

夏期休暇の子ども の居場所

問 一般開放プールは中部小、南部小、緑丘小の3校で17、20日間の開放であるが、それ以外の学校はPTA主催で4、5日間の開放である。天王小・三吉小は1日平均児童数の54%、黒笹小・北部小は1日平均26、27%と多くの児童が涼を求めて利用している。猛暑日が続く夏期休暇の健康的な居場所として全小学校のプールを一般開放プールとしてはどうか。

答 開放している中で利用の少ない日もあるのので費用対効果等を鑑み、PTAと調整しながらこの

事業が多くの人に利用して頂けるよう研究します。



◎黒笹小学校渡り廊下



◎一般開放プール（緑丘小学校）

青木敏郎（新世紀の会）

いじめを許さない
学校づくり

問 本市において、いじめの実態把握はどのような。いじめの認知件数は。

答 各学校では、児童生徒に対しアンケートを実施、更に定期的に教育相談週間を設け把握に努めています。これらを通じて認知された23年度のいじめ件数は、小学校で51件、中学校で54件です。

問 他市でのいじめ事件を教訓に、本市における更なる新たないじめ対策への取り組みの考えは。

答 まずは、いじめを許さない集団作りが肝要です。また、児童生徒の相談事にきちんと対応できる教員の指導力向上を図ります。次に、いじめの早期発見、早期対応が大切で、担任や他の教職員

による情報収集、関係者会議での状況の共有を進めます。

地域防犯対策の推進

問 本市初の街頭防犯カメラが設置されたが、個人プライバシーも考慮し、設置場所・運用基準など、条例制定によりルールを明確化する考えは。

答 防犯カメラは8月に三好ヶ丘駅前設置し、管理については市が定めた要綱により行います。ルールとしての条例制定は、今後、行政区等が地区でカメラ設置を計画される様な場合に検討します。

問 安心ステーションの交番化の見通しは。市の地域防犯力を高めるため、幹部交番を誘致すべきと考えるが、市の考えは。

答 安心ステーションの

交番化は、豊田署の建替えに併せて検討されます。幹部交番の誘致について、要望しましたが難しいとの回答でした。

その他の主な質問 ・治水対策の推進



◎三好ヶ丘駅前の防犯カメラ

日置孝彦（新世紀の会）

23年度定期・随時
監査

問 市債管理の条例制定の時期はいつか。

答 税外債権の適正、効率的な管理に必要な事務処理基準、実施手順の研究を行っています。早い時期に条例の策定を考えています。

問 市民情報サービスセンター市職員が当日の収納金を一人で現金自動振込機に多額の現金を入金している。保管集金方法の安全策を講じる考えは。

答 安全チェック体制の観点から複数の職員で対応するように努めます。

問 規則の守れない職員、注意しない上司、誰が是正・改善の指導を行うのか。職務怠慢への罰則、給与、期末手当削減の検討はなされているか。

答 所管課より改善措置状況報告書が提出され発

生原因、措置内容、組織としての再発防止対策を行っていきます。人事評価制度における能力・態度評価で評価します。

財政援助団体監査

問 給食協会・シルバー人材センター補助金交付事務手続き等は。

答 24年4月1日付で市と給食協会の間で事務所使用契約手続きをしました。シルバー人材センターは補助事業ごとに対象経費内訳を明記した内訳書添付を指示し不備の内容を改善しました。

問 シルバー人材センター役員報酬、旅費に関する規定が未整備であるが改善策は。

答 23年11月24日シルバー理事会、30日の臨時

総会で規定の措置案を提出し承認されました。今後規定の整備は遅滞なく進めるよう徹底します。



◎監査委員事務局

水野 隆市（新世紀の会）

生活保護の現況

問 平成23年3月と24年3月の生活保護者数は。また、22年度と23年度の本市の生活保護費支出額は。

答 23年3月は179名、24年3月は143名です。また、22年度は6640万円、23年度は3530万円です。

問 受給世帯の世帯類型割合は。

答 24年4月は高齢者世帯50・44%、母子世帯1・77%、障がい者世帯14・10%、傷病者世帯15・93%、その他世帯17・70%です。

生活保護の認定

問 最初に相談にみえた方への対応は。また、応対する職員は。

答 現在の生活の困窮状態を聞き取り、その状態

に合わせて、各施策の説明をします。今後の収入の見込みもなく、手持ち金も底をつきそうな方には生活保護の手続きに基づき制度の説明をします。

ケースワーカー2名、面接相談員1名、就労支援員1名で対応します。

問 要否判定の調査は。

答 預金・生命保険・扶養義務者・家庭訪問・自動車保有・不動産保有・

年金、課税及び警察の暴力団照会等の調査をします。これらを踏まえ、真に生活に困窮しているか、今後も困窮する恐れがあるかを福祉事務所長以下で行うケース検討会議を開き、要否判定を行い、生活保護の決定をします。



◎福祉事務所（福祉課）

青木 直人（公明党）

自然災害への対応

問 最近では異常気象が当たり前のように、集中豪雨、ゲリラ豪雨が発生している。本市にあっても8月11日・18日と集中豪雨があった。被害状況の把握は。

答 11日の豪雨による被害は床上浸水が福谷町根浦地区で1件、福田町で2件。床下浸水が福田町で24件、道路の法面崩壊・舗装破損が市道で2カ所、里道で1カ所、農道で5カ所でした。18日は床下浸水が助生町で1件、道路法面崩壊が市道で1カ所、児童遊園の擁壁崩壊が福谷町で1カ所でした。

問 被害の要因、対応・対策は。

答 1時間当たり100ミリ近い猛烈な雨が降ったため、一般的な基準で

整備されている排水路等の許容量を超えたことによるものです。8月定例区長会で防災資機材の点検・確認と4カ所の土のう用砂置場の周知をしました。防災メールを使用し、境川の水位情報を提供して二次災害の防止に努めます。

通学路の安全対策

問 本年4月の京都の事故をきっかけに、文科省・国土省・警察庁から通知が出され緊急合同総点検が実施された。総点検の結果と対策は。

答 通学路危険箇所は8月20日から29日の間に、教育委員会、学校関係者、豊田警察署、道路管理者が現場に出かけ、59カ所の点検を行いました。12月3日までに対策案を作成、計画的に実施してい

く予定です。

その他の質問
・地域主権一括法



◎福田町地内の郡界橋付近（8月11日）

加藤 芳文（清風クラブ）

さんさんバス路線と
ダイヤの見直しを

問 4月からさんさんバスを4台から6台に増やし、豊田厚生病院と根浦地区への乗入れを始めた。しかし、利用者からの苦情が多い。市に届いた苦情はどのようなものか。

答 「三好丘から市民病院まで利用しているが、約1時間かかり不便」、「豊田厚生病院バス停利用者は、病院ではなく浄水駅に向かう人が多い」、「黒笹部分は生活路線が南側を走り、不便になった」等があります。

問 バスの増車にも係らず、6月は昨年に比べ総乗客数が338人減少している。今後運行経費等の予測はどのようなものか。

答 24年度の運行経費は1億5000万円と見込んで

おり、利用者数を昨年並みとすると、市の運行負担金が30000万円増加し、8400万円となります。10月に利用実態調査を行い、路線再編の検討を審議会で行います。

地域組織に対する補助金交付のあり方

問 市は24年度から行政区等、地域組織への補助金交付の見直しを行った。これにより、夏祭りを手伝った中学生への図書券配布や、敬老会の食事も補助対象外となった。このような重要課題において、市はなぜ議会に意見を求めず、説明もしなかったのか。

答 補助金額の一律カットの場合は説明が必要と考えますが、今回は補助金の減額ではなく、補助対象事業者、補助対象経

費と対象外経費、補助率等の統一基準を定めたものであり、議会への説明等を行いませんでした。



◎さんさんバス（さつきちゃん）

岡本 守直（みよし未来の会）

全国学力テスト

問 文部科学省が本年4月全国30%の抽出校の小学校6年、中学校3年の参加で実施された全国学力テストの本市の参加状況は。テストの目的から全学校参加が必要であるが今後の考えは。また、結果を公表し、競争原理を取り入れた方が効果的であると思うが考えは。

答 小学校2校、中学校1校が抽出校として参加しました。今後とも抽出校として参加をします。また、学校全体の数値による結果の公表や比較は差し控えます。

学校の「いじめ」

問 全国小中高の「いじめ」の件数は7万231件、自殺者は25年振りに200人に達し、深刻な

状況。「いじめ」のない環境づくりは大人の責務であるが、本市の現況はどのようなか。また、保護者、地域、第三者機関との信頼関係なくして「いじめ」の根絶は無いと考える。重大な「いじめ」等その対策はどのようなものか。

答 21年度小学校193件、中学校54件。22年度小学校63件、中学校45件。23年度小学校51件、中

校54件です。担任を中心にして生活日記等で様子を確認し、相談員を配置し児童生徒の相談にのつていきます。重大な「いじめ」は指導助言を行い必要に応じて出席停止、区域外就学を認め弾力運用をすることもあります。「いじめ」の発生しない集団、「いじめ」を起こさない集団、教員の指導力向上、児童生徒の悩み、情報の把握に努め、保護者と良好な関係を築けるよう努力していきます。

各科目の平均正答率上位都府県

順位	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
①	秋田	秋田	秋田	秋田	秋田
②	福井	富山	石川・福井	石川	福井
③	石川	石川	青森	福井	石川
④	青森	福井	青森	東京	青森
⑤	香川	香川	富山・京都	京都	富山

順位	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
①	秋田	秋田	福井	秋田	福井
②	福井	福井	秋田	福井	富山
③	富山	富山	富山	石川	石川
④	山形	山形	石川	富山	秋田
⑤	群馬	石川	静岡	岐阜・群馬	群馬

※抽出調査なので平均正答率は幅があり、中間の値でみた順位。幅があるため確定した順位ではない

◎全国学力テスト

藤川 仁 司（新世紀の会）

環境問題

問 自然エネルギーへの転換や省エネが叫ばれる中、本市の取り組みと将来の展望は。

答 「自然・新エネルギーの導入事業」として、クリーンエネルギーである太陽光発電システムや燃料電池システムの設置者に対して補助を行っています。

今後の展望は、国のエネルギー政策の動向を考慮して検討します。

問 建設予定の複合施設においては、地熱利用のヒートポンプシステムなど先進的な空調機を導入し、市民に向けて環境保全の徹底したアピールが必要とを感じるが。

答 複合施設の空調機システムは今年度検討中でありますが、初期投資、

維持管理経費などのコストや環境負荷の低減が図れるような設備の導入を検討していきます。

子ども医療費の助成

問 消費税増税が避けられない中、子育て支援の一環で、子ども医療費の無料化を、中学卒業から

高校卒業まで拡充する考えは。

答 県内でも高校生までの無料化を実施している市町村は、隣の東郷町を含め5市町村と極めて少ない状況です。現在のところ、子ども医療費を高校卒業まで拡充する予定はありません。



◎複合施設イメージ

水谷 正 邦（青雲クラブ）

不燃物埋立処分場に不法投棄されたごみの適正化工事

問 不法投棄が行われた時期と当時関わった職員は。

答 昭和62年頃から平成8年までで、当時埋立に関わった職員は環境課の職員です。

問 市長は23年9月3日の毎日新聞の中で、「現在の職員は関わっていないので処分は考えていない」と述べているが、当時の環境課の職員で在職のものはいるので訂正してはどうか。

答 当時の責任ある立場の職員が現在いないため処分は考えていません。

問 市長の考える当時の責任あるポストとは。
答 管理職以上です。

問 平成8年時点で適正に処理する考えはなかったか。

答 県からの撤去についての指導はなかったと聞いており、それ以降はコンクリートがらのみ搬入していました。

問 24年8月6日に住民監査請求が提出されたが、市長の考えは。

答 監査委員による判断を待ちたいと思います。

問 原因と責任は明らかにすべきではないか。

答 当時の書類も残っていないことから判別がつかない状況です。

問 この一件に関してどこに問題があったのか。

答 詳細については不明だが、埋立てできないものへの認識が薄かったのではないだろうか。

問 当時の役所組織内の体制には問題はなかった

のか。

答 組織内の体制の問題というより、担当課の職員の法令に対する認識の問題だと考えています。



◎不燃物埋立処分場

総務協働委員会行政調査（7月4・5日）

- ・千葉県船橋市（駅前施設における総合窓口）
- ・埼玉県戸田市（証明書等コンビニ交付サービス）

「窓口業務における市民サービスの向上」のテーマに基づき、千葉県船橋市「駅前施設における総合窓口」、埼玉県戸田市「証明書等のコンビニ交付」の行政調査を行いました。

船橋市は千葉県の北西部に位置し、東京に近いという地理的条件を生かし、現在は60万人を擁する中核都市です。視察した再開発ビルはJR船橋駅、京成船橋駅に隣接、地下3階、地上14階、5階に「総合窓口」の他、各種相談、NPOセンター、消費生活センターが入所。総合窓口センターの業務内容は、「戸籍・住民・外国人」「国民健康保険」「高齢者医療」「国民年金」「税」「健康増進」「介護保険」「高齢者福祉」

「障がい福祉」「児童福祉」の多岐にわたり、1日の平均1500人、最大3600人の利用者が

あります。市民の利便性、必要性を考慮した施設として5年目より取扱い件数が本庁を上回っています。職員はエプロンを着用、カウンターの色、形状など市民と職員の距離を近くする工夫がなされています。

戸田市は人口12万人余、東京から埼京線で荒川を渡り最初のまちです。コンビニ交付サービスは、（財）地方自治情報センターが提供するサービスの一つで、このシステムの特徴としては、全国共通仕様の住基カードの使用・偽造防止や通信の安全対策等です。（財）地

方自治情報センターが行うコンビニ交付導入推進事業の公募に戸田市が応募し、23年1月より開始しました。23年度のコンビニ交付は131件で全交付の0.5%。住基カードの普及が課題で、本市においても「住民サービス向上」に向け、さまざまな情報収集が必要と考えます。



◎戸田市役所前にて

文教厚生委員会行政調査（7月12・13日）

- ・長野県大田市（市民の健康づくり）
- ・長野県岡谷市（市民の健康づくり）

「市民の健康づくりについて」をメインテーマに、公立病院との関わりも調査するため、市民病院のある長野県大田市と岡谷市を訪れました。

調査項目は「行政における健康づくり」「健康づくりと食育の関わり」「市の健康づくりと公立病院との関わり」「病院の特色ある事業の取組み」です。

大田市は長野県の北西に位置した面積約565平方キロ、人口3万人余の山間地域で、人口は減少傾向、要介護者が増加傾向にある高齢化率30%超の財政の厳しい市で、健康づくりが重要です。

「誰もが住み慣れた地域で、健康で、安心して暮らすことができるまち」を目指して、高齢者

支援と市民の健康づくりを推進し、事業には「きり健康塾」「体スッキリウォーキング教室」「筋力向上トレーニング教室」「食からはじまる健康づくり」等があります。大町総合病院は積極的に市民との関わりを図っており、「大町病院だより」の発行、職員が毎月行う市民向け「院内学習会」等があります。

最も特徴的なのは、会員数155名、団体会員20団体の、大町病院を守る会の存在です。「会報」の発行など積極的なボランティア活動を行っています。

岡谷市は長野県の中央に位置し諏訪湖に面した面積約85平方キロ、人口5万3千人の市です。

岡谷市も少子高齢化及び人口減少が懸念され、健康づくりは重要課題です。市は「身体活動・運動」「栄養・食生活」の取り組みとして「あるき太郎ウォーク」「もっと野菜を食べよう運動」に取り組み好評を博しています。



◎岡谷市での調査

経済建設委員会行政調査（7月10・11日）

・静岡県御殿場市（ゴミと省エネ対策）
・埼玉県春日部市（環境未来都市としての取り組み）

御殿場市は、静岡県の東部に位置し人口約9万人、富士山の麓として、

また、避暑地としても全国的に知られています。

御殿場市は、ごみ減量のため、生ごみと省エネ対策として「水切りコンテスト」を実施していま

す。生ゴミの水分が少なくと固形燃量にする際に使用される燃料が少なくなり、二酸化炭素の排出量が削減され地球温暖化に繋がります。

この他、ゴミ減量月間、3R推進月間、エコ祭り、

ゴミ減量キャンペーン等、行政と住民が一体になった取り組みをしています。

また、富士の国エコチャレンジ事業や生ゴミ堆肥事業等、環境に対する取り組み、子供に対する環

境教育に取り組んでいます。

春日部市は、埼玉県の東部に位置し、人口約24万人でテレビアニメのクレヨンしんちゃんでも知られています。

エコまちづくり対策として、ヒートアイランド現象の緩和に向け、地中熱利用ヒートポンプシステムのの実証実験に取り組んでおり、外気に廃熱を放出せず地中へ排出するため非常に有効なシステムでした。

この他、高反射率塗装（赤外線等を反射する塗装）、保水性塗装（舗装面に保水性を持たせ気化冷却水により表面温度を低下させる）等のヒートアイランド緩和策を進めています。

また、カーフリーデー及びモビリティウィークを実施して、1日間は車を使わない地区を作り出し、車と都市交通のあり方を考える取り組みを行っています。

この他、賑わいのある街づくり創出のため、シャッターアート、映画看板を商店街壁面に飾る等の色々な取り組みがされています。



◎御殿場市生ゴミ堆肥化施設

議会運営委員会行政調査（7月18・19日）

・福島県会津若松市（議会改革と議会事務局の充実）
・神奈川県横浜須賀市（議会改革と予算・決算委員会）

議会運営委員会は、昨

年度に引き続き、議会活性化に向けた取り組みとより開かれた議会を目指し、議会改革の先進地である会津若松市、横須賀市にて行政調査を行いました。

会津若松市では議会改革の一環である議会報告会を中心に説明を受けました。

報告会は、市民との意見交換を取り入れた形で年2回、全議員が5班に分かれ、市内15会場へ出て行われています。

意見交換の現状は、市民からの要望が中心となり、それらを広報・公聴委員会が分野別に整理して、課題は政策討論会の分科会や全体会で検討されます。

課題は、参加者が少数

で固定化され、参加者が発言することによる自己満足が目的となる場合が多く、より広く意見を聞きたいといった目的が達成されないとのことでした。

議会事務局を充実するため、議長による事務局員の人選が行われています。

決算特別委員会は9月定例会において設置し、一般会計、特別会計すべての会計を審査しています。

議会としては、7月8月には前年度の決算について事業評価をもとに審査し、政策に反映しています。

横須賀市では、予算決算委員会について調査。平成20年10月から検討

を開始、先進市視察を含め18回の検討を行いました。

設置の目的は、従来の分割付託による審査方法では各委員会での表決結果が異なる可能性があること等、矛盾が生じるため、これを解消することにあります。また、委員会の構成は、議長を除く全議員です。

議会基本条例については、14年12月に制定した市議会会議条例が先駆けとなり22年6月に制定されました。



◎会津若松市議事堂にて

議会広報特別委員会行政調査（7月25・26日）

- ・兵庫県加西市（議会広報の編集）
- ・兵庫県宝塚市（議会広報の編集）

みよし議会だよりの編集発行の参考とするため、委員8名と事務局1名で兵庫県の2市に視察研修に出かけました。

加西市では広報紙の表紙はカラーで中面は2色、16ページが基本です。市の広報に合わせて左開きで文字は横組み、文字のフォントも大きくする等の工夫が見られます。

宝塚市は皆さんご存知の宝塚歌劇団のある街で、高層マンションとお屋敷が立ち並ぶ関西屈指の住宅街です。行政調査にあたっては広報広聴委員会の正・副委員長（女性2名）から説明を受けました。本市では議会広報紙は議員自らが原稿を作成し、写真を撮影して編集発行していますが、宝塚市で

は議会基本条例制定後に事務局による作成から一部議員の執筆によるものに変更したとのこと。23年12月に紙面は全面カラーに変更。議案結果一覧や委員会報告、一般質問、議会報告会、特集で構成されています。議決結果の掲載については会派から議員個人の賛否の

一覧表に変更し、一般質問では議員の顔写真を載せる等、改良が図られています。

本市の議会広報としては、昨年の委員会において表紙の全面写真化、表や写真を多用しての見やすい紙面づくりが図られており、大きな変更は現時点では行わず、写真や図表の精度を上げていくこととし、議事以外の議会情報も特集として掲載していくなど、改善を図っていきます。



◎宝塚市での調査

議会改革掲示板2

11月9日、みよし市議会では初めて、市民の皆様一般公開となる行政調査報告会を行います。開催にあたっては市の公共施設や行政区の施設に案内のポスターを掲示していただくなど、区長会の皆様には大変お世話になります。報告会の状況は次号の議会広報紙きずな88号でご報告いたします。内容につきましては本紙87号17ページから19ページに記載の通りです。ご参照ください。

みよし市議会では行政調査報告会など、議会活動の一部を今後もお伝えして行くとともに、市民の皆様に見える形で議会改革を進めてまいります。

また、現在議会改革を進めるにあたり参考とするため、市民の皆様

様に議会に関するアンケートをお願いしています。市民の皆様の中から無作為に2000人を選び、男女・年齢・地域別に無記名でアンケートを実施し、市議会全体に対する関心や議会情報の入手、議会だよりについてなどのご意見を伺います。皆様のご協力をお願いします。

アンケートの結果は集計が来次第、皆様に報告させていただきます。



コミュニティ防災訓練

(黒笹地区コミュニティ推進協議会 黒笹、三好丘あおば行政区)



救護訓練 AED



去る9月16日(日)、午前9時から黒笹地区コミュニティ推進協議会の主催で、大規模地震発生を想定した防災訓練が実施されました。

Ⅱ 黒笹小学校にてⅡ



救護訓練 三角巾



煙体験訓練



消火訓練



雨量 降り始めから 129mm 最大 80.5mm/1 時間

8月11日ゲリラ豪雨による西一色地内の浸水状況

次回定例会のご案内

平成24年第4回定例会の予定は左記のとおりです。

会 期 12月7日(金)～25日(火)
一般質問 12月11日(火)・12日(水)
議案質疑 12月14日(金)

【委員会】

総務協働委員会 12月17日(月)
文教厚生委員会 12月18日(火)
経済建設委員会 12月19日(水)

編集後記

東日本大地震が発生し、早や1年8カ月が過ぎようとしています。

未だに終結が見えない原発事故、ガレキ処理、そして多くの犠牲になられた方々、また不由な仮設住宅での生活をされている被災者の方々を思うと心が痛みます。本市も8月11日のゲリラ豪雨では被害がでています。災害はいつ来るかわかりません。日ごろから、災害に備えての心がけをよろしく願います。今後も皆様のお役に立てる広報紙となるよう努めてまいります。

議会広報特別委員会